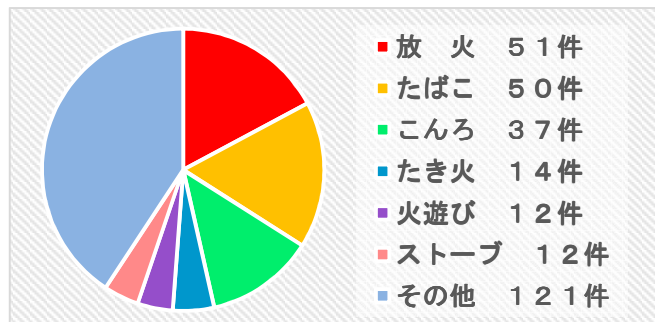


向洋本町自主防災会だより

《 第 12 号 》
平成30年3月1日発行

放 火 平成 29 年火災原因のトップ

広島市消防局の統計によると、昨年市内で発生した火災は297件、原因で最も多かったのは放火の51件、この中に南区の7件も含まれています。



◎ 放火から、わが家を守るために

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない
- 2 ゴミは収集日の朝に出す(夜は出さない)
- 3 屋外の物置には必ずカギをかける
- 4 夜間、家のまわりを明るくする
- 5 新聞などをためないようにする
- 6 洗濯物の取り込みを忘れない
- 7 近所で気軽に声を掛け合い、注意を払う

第 3 回 防災講習会開催

2月18日、南区役所地域起こし推進課伊藤 登 氏を講師に招き、勉強会を開きました。消防士として消防局に勤務、レスキュー隊長も歴任の講師から、広島土砂災害で目撃した現場の光景や被災者救助活動の体験談を聞き、災害に備えることの大切さを学びました。



◎ 日頃からよく知っておくこと

昨年、作成配布した「向洋本町防災マップ」を参考に、次のことを確認しておく。

- ① 町内にある「ガケ等急傾斜地崩壊危険箇所」
- ② 災害の種別(津波、高潮、土砂、地震)に応じた避難場所の所在地と避難ルート



会場の本町会館で
熱心に聴講する
出席者 (34名)

気象と防災

大雨日数の増加傾向と災害

気象予報士 渡部俊夫

向洋本町に住む気象予報士の渡部俊夫です。これから折に触れ「気象と防災」に関することを町内の皆さまにご紹介したいと思いますので、よろしくお願いします。

今回は異常気象に伴う防災上のリスク増加の一例として、大雨日数の変化を過去の資料から見てみました。下に示す図は「日降水量 100 ミリ以上と 200 ミリ以上の年間日数(日本国内 51 地点の平均)の 1901～2006 年の 106 年間の経年変化図」です。この図から次のことがわかります。

- 1日の降水量 100 ミリ以上や 200 ミリ以上の日数は、106 年間で増加傾向にあります。
- 災害につながりかねない、こうした大雨日数の増加は地球温暖化が関係している可能性があります。

